

現在、活躍中の文京アカデミアサポーターの皆さんに伺いました！

ストレッチやヨガなど体を動かす講座をサポート中の上野さんと小川さんにお話を伺いました。

—上野さんは、サポーター経験5年になるとのことですが、応募のきっかけは何ですか？

上野さん 「人生の節目を迎え、そろそろ人の役に立つことをしてみたい」と思っていた時に、たまたま会社で1か月の休暇がもらえることになりました。そして、これもまた「たまたま」区報でサポーター養成講座のことを知り、応募しました。民間が開催する講座や研修会などには参加することが多かったのですが、アカデミア講座や文京アカデミアの催しへの参加経験はありませんでした。



上野さん

—お仕事があると、なかなかサポーターができないと思うのですが…

上野さん サポートを希望する講座、あるいはサポートができる講座を事前に聞いてくれるので、仕事の予定がない土曜日とか夜間の講座を希望したので、特に困るようなことはありませんでした。

—小川さんには生涯学習司^{※1}として、講座の企画等で協力していただきましたが、意外にもサポーター経験は1年とのこと。生涯学習司として活躍されているのに、サポーターに応募したきっかけは？



小川さん

—生涯学習司の経験が長い小川さん、サポーターとして活動した感想は？

小川さん 今まで生涯学習司として企画するという立場から、対象となる受講生のことや講座内容について考えてきました。しかし、サポーターは企画する立場でもなく受講生でもない。オブザーバーのような立場で、講座内容や受講生の様子などを見ることができるようになりました。この経験を、生涯学習司として講座を企画する時にも活かすことができていると思っています。

—サポーターをしてみて、大変なことはありませんでしたか？

小川さん サポーターとして講座にかかわってみると、大変なことがわかる！（笑）例えば、レクリエーションホール壁面の鏡を出すためのパネル操作！コツがあるようで、慣れないと手間取ります。それから、床拭き^{※2}もするのですが、通常は土足で使っているの、なかなかきれいになりません。でも、受講生の皆さんが安心して受講し、満足してお帰りになるのを見るとやりがいを感じますね。

上野さん 私は特にありませんね（笑）。床拭きや鏡出し^{※3}などの作業系の準備も大丈夫です！

体調不良などで、急に仕事に困難になることがあっても、サポーターのサポート体制がしっかりしているので、安心してサポーターをお休みすることができます。このようなサポーターの仕組みがすごいと思います。

—サポーターになって良かったことは？新たな「気づき」などがありましたか？

上野さん 生活にリズムができることですね。それから、仕事や人間関係など、今までと全く違うことができる、違ったところに行けることです。

—受講を考えている方へ「一言」

上野さん 自分の都合に合わせて社会貢献ができる良いチャンスだと思います。

小川さん サポーターとして活動してみて、改めて文京区の生涯学習の凄さが分かります！！講座内容も充実しているし、それを支え

る人たちのネットワークが素晴らしいです。サポーター経験は一言でいうと「未知との遭遇」です！



床拭きをする上野さんと小川さん

座学の講座をサポート中の松本さんにも伺いました。

—昨年、サポーターデビューしたそうですね。サポーターに応募したきっかけは何ですか？

松本さん 文京区に引っ越してきて、地域のことを知りたい、何かしたいという気持ちがあって、アカデミア講座を受講しました。そこでサポーターのことを知り、「何かしたい」につながると思い養成講座に応募しました。



松本さん

—サポーターになってみて、どうですか？

松本さん もともと講座を受講するのが好きだったので、色々な講座にかかわることができて楽しいです。自分自身、あまり関心のない内容の講座でも、サポーターとして立ち会っていると、「こんな世界もあるんだ！」という発見があり面白いです。体を動かすことも好きなので、今のところ大変だった、困ったということはありません。

—受講を考えている方へ「一言」

松本さん サポーターとして活動してみて、思わぬ発見がありました。やってみることをお勧めします！



先輩サポーターの三浦さんと受付をする松本さん(右)

※1 生涯学習司…「文の京生涯学習司」のこと。所定の養成講座を修了し、生涯学習事業を企画・調整できる地域のリーダーとして文京区が認定した人。

※2 床拭き…靴を脱ぐ講座の場合は床を拭く。

※3 鏡出し…講座中、ポーズ等を確認できるよう壁面の鏡を出す。